

デジタル配車板システム



## 導入事例

お話を伺ったのは..



株式会社ジェーラインエクスプレス様

基幹システムとのデータ連携で  
事務と配車の効率化を実現株式会社ジェーラインエクスプレス  
専務取締役 桂川正彦 様、社員の皆さま

2024年4月インタビュー

## 基幹システムとのデータ連携を目指し、Tradissによる配車板のシステム化が始まった

株式会社ジェーラインエクスプレス  
専務取締役 桂川正彦 様

## 配車板をシステム化するきっかけや、Tradissとの出会いについて教えてください。

**桂川様** 配車板は配車担当者とドライバーの接点です。誰にでも分かりやすくする必要があるので、全8拠点に大型ホワイトボードを設置し、色分けされたマグネットで運用してきました。しかし、約3年前から、売上管理や勤怠システムといった基幹システムと配車板のデータ連携ができないかと考え始めたことが、配車板システム化のきっかけです。

**西ヶ谷様** 最初は適切なシステムが見つかりませんでした。多くは液晶ディスプレイで表示するだけで、システムではありませんでした。ホワイトボードのマグネットのように、車両やドライバーをドラッグできる機能を求めています。

本社 管理本部 総務部  
総務システム課 係長 西ヶ谷誠 様

**桂川様** 世田谷サービスさんに相談したところ、日本情報システムさんで開発中の「Tradiss」を紹介されました。基幹システムとのデータ連携を実現するために何度も打ち合わせを行い、要望を伝えました。データ連携で売上入力の効率化を実現することを「夢」として描いていたので、打ち合わせの後はいつも「楽しかったな」と感じていました。

## データ連携で事務作業の効率化を図ったのですね

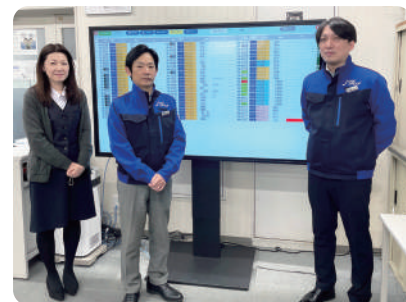
**西ヶ谷様** 当社では車両ごとに原価計算や売上管理を行っており、そのデータの元となるのがホワイトボードです。それをPCに再入力するのは非効率で、ミスにつながる可能性があります。営業所によっては、車両別売上の入力だけで毎日3、4時間かかる場合もあります。また、入力が間に合わないときはホワイトボードの写真を撮り、翌日の配車を組むこともあります。

**桂川様** 毎日3、4時間が365日です。全ての営業所でシステム連携できれば、ものすごい効率化です。

## 伊勢原営業所でTradissの運用開始 ~データ連携で見た成果、拠点展開へ

昨秋には伊勢原営業所での運用が始まりました。  
実際に活用されてみてTradissのメリットは何でしょうか

**荒井様** 車両別売上管理システムとのデータ連携で事務作業が効率化されました。Tradissを使えば、車両やドライバーの急な変更時の共有ミスがなくなり、リスクもゼロに。また、Tradissなら過去のデータや翌日以降の計画も表示できるので便利です。

伊勢原営業所 所長 荒井順也様(中央)、  
配車管理係長 開山能士様(右)、永井様(左)

ホワイトボードと異なりTradissは当日分以外の配車も行える、ということは事前に少しずつ準備ができそうですね

永井様 そうですね。伊勢原営業所の顧客は夏と冬の2回、全コース編成が変更されます。以前はホワイトボードで前日に全てを組み直す必要があり大変でしたが、Tradissを使うと変更が判明したコースから前もって準備ができるので便利です。

昨秋からの伊勢原営業所での運用は順調な様子ですね

桂川様 湘南営業所は荷物量や荷主、トラックが多く、毎日配送ルートが異なるため、配車が伊勢原営業所よりも複雑です。そこで、データ連携や使いやすさの検証のため、まずはシンプルな伊勢原営業所で運用を開始しました。成功を確認したので、いよいよ湘南営業所の導入に向けた仕様決めが最終段階に入っています。

さらなるシステム連携を追求～データ集約と共有で「夢」の実現に向けて

今後の展望を聞かせてください

西ヶ谷様 データ活用を進めたいです。現在は勤怠システムを表計算ソフトに転記し、拘束時間を集計して営業所ごとにポスターで周知しています。今後はTradissで勤怠データを集約し、拘束時間を表示したいです。また、データ(csvファイル)での注文が増えてきたため、マクロを組んでワンタッチで配車できる取り組みを進めています。これらのデータとTradissを連携して効率化を推進したいです。

桂川様 残業が増え、時間外労働や拘束時間の上限に達すると、その月の勤務が制限されます。即時性を持ってアラートを出す必要があり、ドライバーの意識改革も求められます。

ドライバー配置の平準化が重要で、ICT活用を目指します。将来的にデジタルコヤやドラレコのデータも連携できれば、配送の進捗把握や帰社時間の計算、即時の組み替え対応が可能だと考えています。

これも「夢」として描いていますが、社内アプリで現在の会社情報を社員やドライバーと共有したいのです。Tradissでシステム連携すればデータが集約され、それを活用して情報伝達ができるようにしたいと考えています。



「夢」の実現に向け熱量を持って話し合う  
ジェーラインエクスプレスの皆さま、  
世田谷サービス、日本情報システム

桂川専務取締役の「夢」はこれまで1つずつ着実に実現されています。  
TradissはICTの力でその「夢」に応え続けられるよう進化していきます。

詳しいインタビュー内容はWebサイトに掲載しております

<p>株式会社 <b>ジェーラインエクスプレス</b> 様 https://www.jline-exp.co.jp/</p>	<p>1986年創業。湘南、伊勢原、厚木、千葉、川島、埼玉、水戸、仙台の8拠点を展開。国土交通省が推進する安全性優良事業所(Gマーク)認定を取得。 冷凍・冷蔵食品、生鮮食品の輸送・保管・荷役等のロジスティックサービスを提供する総合物流企業。 「安く・早く・安全に」の三原則を基本とし「人と人とのコミュニケーション」を大切に顧客企業の戦略パートナーとして社会に貢献する。</p>
--	--



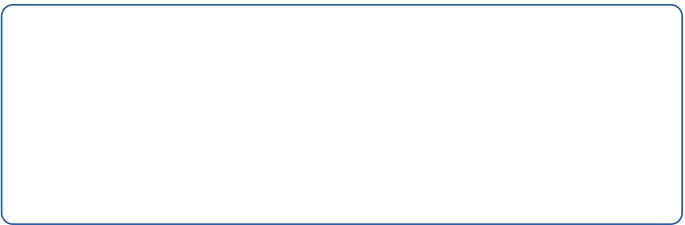
解説動画 **TRADISS** で解決! 物流DXと働き方改革 ▶  
無料トライアル実施中 Tradiss 製品ホームページ <https://tradiss-web.com/>



製品に関するお問い合わせ

**NJS** 日本情報システム株式会社  
https://www.njs-net.co.jp/

〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台 4-22-2  
TEL 04-2958-2221 Email isales@njs-net.co.jp  
9:00~17:45 (土・日祝日及び弊社指定休日を除く)



本文中に記載されている事項の一部または、全部を複写、改修、転載することを禁じます。本文中に記載されている事項は予告なく変更される場合があります。